

「中国大運河」が世界文化遺産登録



常州運河

常州は別称で「竜城」とも呼ばれる歴史の古い文化都市。江蘇省南部、長江デルタの中心に位置し、北には長江が流れ、東は太湖に臨む。京杭(中国)大運河が市内を通っている。山水の美しさから「グリーンの仙境」とも言われる。



南潯運河

南潯は浙江省湖州市の東に位置し、上海、蘇州、杭州など主要都市まで100kmと交通の便に優れる。中国歴史文化名鎮の一つで、中西合璧の古典建築やかつての文化人の庭園などが多く残り、古き江南水郷独特の趣が漂う街。



台兒庄運河

台兒庄は山東省枣庄市に位置する市轄区。水陸の幹線が交わる位置関係から、清代には船舶の往来が多く「天下第一庄」と呼ばれる商業の町であった。古城の中にまで流れ込んでくる運河は、「東方古水城」独特の趣を醸し出している。



天津楊柳青運河

楊柳青鎮(町)は天津市の西部に位置し、北には子牙河と大清河が、南には大運河が流れている。明・清時代に運河が開通し、水運が盛んになった。秋になると南からの食糧運輸船が集まってにぎわい、北方の「小蘇杭」(ミニ蘇州・杭州)と呼ばれた。



無錫運河

無錫は「太湖の真珠」と称される、3千余年の歴史を持つ江南の古い都市。南部に太湖があり、広い太湖には川や溪流が密に分布。典型的な江南水郷の風光を呈している。無錫の風景は「絵のように美しい」とよく言われる。



蘇州運河

蘇州は古代の「呉」の国。全体的に地勢が低いため、湖沼が多く、川が縦横に流れており、江南水郷として多くの人によく知られている。蘇州古城の中には水路が35km、橋が168本もあり、「東洋のベニス」と称されている。

1600年前に建設された世界最古の大運河「中国大運河」の世界文化遺産登録が先月22日、ユネスコ(国連教育科学文化機関)がカタール・ドohaで開いた世界遺産委員会で決まった。同時に中国、カザフスタン、キルギスの3カ国が共同申請していた「シルクロード」も世界文化遺産に登録が決定。これで中国国内の世界遺産は47件となった。

世界遺産委員会は、大運河について「世界で最も古い、長い人工の水道。産業革命以前では最大規模で、最も広範囲に及ぶ土木工事だ。中国南北の物資の交流と領土の統一管理を促進した」と評価した。

中国大運河は、北京・杭州を結ぶ総延長2500kmに及ぶ運河で、「京杭大運河(けいこうだいこうが)」とも呼ばれる。紀元前から部分的に開削されていたものを隋の楊帝が整備、610年に完成した。大運河は途中で黄河と揚子江を横断。歴代王朝から現代に至るまで主に物流の大動脈として活用されている。

大運河の世界遺産登録を受け、観光業界の動きも活発化している。北京や天津、蘇州、杭州など18都市の観光部門は先月24日、大運河沿いの都市が連携して観光業の発展を図る「大運河都市観光PR連盟」を発足させた。



中国イベント情報 (8～9月)

2014中国西安シルクロード国際旅行博覧会(西安市)9月19～21日



中国でも初となる具体的テーマ性を持った国際大型博覧会であり、潜在価値が高いシルクロード経済圏を中心とした国内外の業者との商談会や交流の機会を設け、新しい貿易市場や旅行市場の開拓と発掘が期待できる。

シルクロードが世界遺産に登録された直後であることから、多くの国と地域からの参加が見込まれている。場所はシルクロードの起点の一つ、西安市西安曲江国際コンベンションセンター。

主催：中国陝西省旅游局
協力：西安市旅游局、陝西省
旅游協会



《推定規模》
出展者＝30の国と地域から500社
展会面積＝2万平方m
業界人＝4千人 一般＝3万人

《出展費用》
・パッケージブース費用(1×1m) 180円※9平方mより
(パッケージブースにはカーペット、商談机一卓、椅子二脚、企業名プレート、ライト二個、220Vの電源コンセントが含まれる)
・スペース費用(1×1m) 150円※18平方mより

申し込み、詳細は公式HPより<http://www.srite.com.cn/cn/page/16/home.html>(中・英)

第2回ユースオリンピック競技大会(南京市)8月16～28日

ユースオリンピック競技大会とは



国際オリンピック委員会(IOC)のジャック・ロゲ会長(当時)が2007年に提案した、14歳から18歳までを対象とした国際総合競技大会。五輪と同じく夏冬に分かれ、それぞれ4年ごとに開催。2010年に第1回夏季大会がシンガポールで開催され、2015の国と地域から約3600人の選手が参加、26競技201種目が実施された。2012年には第1回冬季大会がオーストリアのインスブルックで開催された。(IOCサイトより抜粋)

第2回ユースオリンピック競技大会



【開催地】
中華人民共和国・南京
【期間】
2014年8月16～28日(13日間)
【実施競技・種目】
28競技222種目

大会公式サイト(英語版) <http://www.nanjing2014.org/en/>

南京市内の観光スポット



夫子廟
孔子を祀る大成殿があり、科挙の試験場の跡地。夜景が美しい夜の定番スポット



明孝陵
明の時代の太祖洪武帝朱元璋と后妃の陵墓、世界文化遺産登録

2014中国旅行博覧会(天津市)9月19日～22日



2009年に始まり、これまでに80余りの国と地域、中国全国から31の省市が集まる大型旅行博覧会として、旅行業界の大きな評価を得ている。各地のブース展示と商談会に加え、各種プロモーションや旅行発展シンポジウム、クルーズ船やキャンピングカーなどの展示もある。(会場面積5万平方m、ブース数約3千)

今年は9月19～22日の間に天津市梅江国際展示場で開催される。特に今年は産業発展と区域協力の二つに注力し、大型旅行装備品や旅行省エネ環境保護設備、旅行電子情報設備、ホテル用品など10以上のテーマと1千種類に及ぶ特色豊かな商品が出展される予定。また6テーマ区を設置し、旅行情報技術などを展示するスマートトラベル区、北方旅行交易会展区、国際特色旅行商品展区、ヨット・汎用機項目展区、キャラバン&アウトドア旅行装備展区、ホテル用品および特色商品展区などがある。

その他、各種フォーラムやプロモーションなどが多数開催される。

主催：中国国家観光局、天津市人民政府
後援：国連世界観光機関(UNWTO)
共催：天津市観光局、中国観光協会、今晚メディア集団

《出展費用》
・パッケージブース費用(3×3m) 1万2千元/1ブース
(パッケージブースには商談机一卓、椅子二脚、企業名プレート、ライト二個、220Vの電源コンセントが含まれる)
・スペース費用(1×1m) 1200円※36平方mより申請可
申し込み、詳細は公式HPより<http://www.ctif.travel/>(中・英)